

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	事業所の運営理念に「地域社会とのつながり」を掲げ、会議等において確認し、日々のケアサービスに取り組んでいる。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	毎日の出退勤時には目をとおすように玄関やユニット内に掲示したり、毎日のミーティングやカンファレンスを行う際にも確認し、常に実践に向けて取り組んでいる。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	玄関への掲示や、契約書への添付、ホーム便り「かがやきタイムス」の掲載で理解を広げたり、運営推進会議や家族来訪時に理念に沿ったケアサービスの説明を行っている。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	商業地域ではあるが、商店の店員と挨拶しあったり、ご入居様が買い物に訪れた際にはドアを開けてくれたり、休憩を勧めてくれたりと親切である。また、消防訓練時には来訪していただき、避難訓練等ご協力して頂いている。	4月からは町内会班長と防災係に任命されたことを有効利用し、よりいっそう隣近所の人たちとの日常的な付き合いを広げたい。また、住宅地の公園へのピクニックや散歩を増やしていきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域のお祭りやゴミ拾い、保育園のお遊戯会などの行事には積極的に参加させていただいている。また、天気の良い日はほぼ毎日、ご入居様と地域の商店・スーパーに買い物に出かけ日々の日常生活の中での交流することに努めている。	今年度は地域の幼稚園や保育園と交流したり、町内会のイベントや情報を積極的に活用していきたい。
6	事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	現在の体制では多くのことはできなく、地域貢献への具体的な取り組みは行っていないが、見学者や近隣の方々から介護についての相談があり対応している。	町内会会合や運営推進会議の中で、地域の高齢者の暮らしに事業者として役に立てることはないか話し合っていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者を中心に毎日のミーティングで、ご入居者様の言葉を希望や意見としてとらえ、可能な限り、早急な改善に取り組んでいる。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	ご家族面会時に最近に様子を伝えるようにしている。健康状態については管理者から必要時都度、電話やFAXで連絡している。金銭管理については、出納帳で出入金の内容を1ヶ月に一度ご家族様に確認を頂いている。また、3ヶ月1回ホーム便りにて暮らしぶりや行事についてお知らせしたり、個別に便りを送っている。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居契約時には苦情相談窓口があることを説明し、苦情受付箱があることを説明している。また、面会時には意見や要望を聞くように努めている。「施設にお世話になっている」ということより、これからもご家族様が積極的にお話ができる関係づくりに心掛けていきたい。		スタッフによってではあるが、ご家族に馴染み、いろいろお話する機会が増えてきた。今後とも強化していきたい。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々のミーティングや主に月に一度ユニット会議を行い職員からの提案を聞いて議論し、反映させている。また今後は2ヶ月に一度「全体会議」を開くことが決定し、幅広く職員の意見を運営に取り入れていきたい。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	行事や病院受診、また利用者の生活ペースに合わせて、職員の数や勤務時間帯の調整を行っている。		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	各ユニットで職員を概ね固定し馴染みの職員が対応できるようにしている。家庭や体調に合わせたシフトや休暇など普段から配慮している。新入職員はご入居者様に紹介し早く信頼関係が構築されるようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>新入職員は入社後、育成担当職員がつくことにより、不安なく業務にはいることができるようにしている。また、外部研修には経験年数に応じて参加し、復命研修や研修報告書を提出し、全職員が閲覧できるようにしている。</p>	<p>今後は、各職員が主体となったホーム内研修を予定している。また、「看取り」に関する研修にも力を注ぎたい。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>札幌市北区GH連絡会の広報を担当して、交流を図ることに努めた。管理者同士の繋がりがあるグループホームは、頻繁ではないが職員の訪問もある。</p>	<p>さらに地域の同業者と交流会等ができるよう取組んでいきたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>運営者は毎日職場に足を運び安否の確認をしたり、職員と個別面談を実施し「思い」に耳を傾けている。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>職員会議に出席してモチベーションを向上する談義をされたり、資格取得に関しても前向きに支援している。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居以前に必ず、管理者や職員が本人・家族と面談を行い、初期関係を築いたり、思いや環境の確認をしたり、「その人らしさ」が継続できるよう配慮している。実際には入居されたからの不安や困っていることが表出・多大化するが、真摯に受け止め、ダメージ期間を短くなるよう支援している。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族様からこれまでの経緯や苦勞を傾聴するよう努めている。また、サービス利用初期時の対応にも確認するようにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	現在満床ではあるが「空きはありますか」という相談が多いのが現状である。また、電話や来訪時には相談内容を傾聴し、見極めて必要であれば他サービスや関連機関のご紹介している。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	少しでも馴染めるよう、ご本人やご家族の見学に来ていただいている。また、面談に訪問した職員やご家族が慣れるまで、ご本人と一緒にホーム内で過ごす時間を多くしたり、家財は家庭で使用していたものなどを自室に置くよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	ご本人と関わる全ての職員に「共に生活している」ということ常に意識して業務に取り組んでいる。職員に対しての労いの言葉をかけてくださったり、進んで家事を手伝うことも多い。若い職員はご利用者様から、色々料理や風習など学ぶ機会も多い。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	来訪時やケアプランの説明時に家族の要望や、昔のことを何うよう関係づくりに努力している。また、ご本人にとってご家族様の面会が有効とする時には連絡・説明を都度行っている。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	遠距離や面会が少ないご家族様には、定期的にホームでの生活を文書や写真で報告したり、行事開催時には案内の手紙をだしたり、面会を呼びかけたりして支援が薄くならないよう配慮している。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	可能な方は電話や年賀状をだしたり、なじみの医療機関を継続受診できるよう対応している。時には、以前長い間住んでいた土地へのドライブを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	個々を尊重しながらも毎食時や、午前は体操、午後はおやつの時間を利用し、集団で関わり合いがもてるようにしている。難聴や重度の方もいるが、トラブルが起きないよう職員が「橋渡し」をすることで対応している。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	長期入院により契約終了しても病院に面会にいたり、退去されたご家族から年賀状や近況報告にホームへ来訪されたりすることがあったりとこれからも大切にしていきたい。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の希望やご家族様からの要望に沿えるようしている。今春からは更に本人本位の意向を把握するため、アセスメントにセンター方式を導入した。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居して数年経過していても、家族面会時や日常の生活会話から聞き出ししたり、外出時や気の合う利用者同士の会話から常に探るようにしている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	ご利用者は高齢な為体調や精神状態で変化を伴うが、職員一人ひとりがミーティングやカンファレンス時にケアのアイデアや工夫を出し合っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護計画作成時には、家族や医療従事者から事前から要望や意見を募り、カンファレンスで検討している。本人からの課題やニーズが聞き出せない時には、普段の生活から見極めて、計画に反映させている。		ご家族様には、介護計画書の説明時に意見を伺っているが、今後は更に事前時間を配慮し、ご家族様の積極的な意向・提案を取り込むようにしたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	状態変化が生じた時は、関係者で情報交換や確認、話し合いを行い、ご家族様にお知らせしてプランの検討、見直しをしている。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の状況を個別記録に記入し職員間での情報共有が図っている。朝・夕にミーティングで詳しく伝達しているが、職員のよっては具体的な記録内容とはいえない。		研修や指導の機会を多くして、ケアプランに沿った内容で記録していくようにしたり、運営者と相談し、パソコン導入も検討したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	通院の支援を柔軟に行っている。また、ご入居者の精神状態や天候に応じて、食事内容を変更したり、外出支援等行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	年1回、消防避難訓練や救急救命訓練を消防署の方にご協力を得て行っている。地域の図書館へご利用者と一緒に利用させていただいている。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域のサービス事業者やケアマネジャーとは密に連携を図り情報収集に努めている。今後は訪問マッサージを利用するよう準備をしている最中である。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	毎回、運営推進会議に参加して頂き、意見・助言をもらっている。今後とも地域に貢献していけることを協働していきたい。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人、家族の要望に沿った医療機関への継続受診を支援している。協力医とは何でも意見交換できる良い関係を築いている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	入居以前からかかっていた精神科・心療内科への継続受診を行っている。担当職員が付き添うことにより、ホームでの今までの対応、今後の対応に関しても等、いろんなことを相談できる関係ができています。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	定期往診と週1回入居者の体調を見ていただいている看護師が同じ医療機関の為、連携がスムーズである。その他主治医でも気になることを相談したり、必要時アドバイスをもらっている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には、管理者・介護職員がこまめに面会や病院と密に連携を図ったり、ご家族様と話合ったりして早期退院に結びつけられるようにしている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入居時に重度化した場合や看取りの指針を説明しているが、ご家族様の殆どは終末期を現在では想定していないことが多い。しかし、運営者、管理者、医療機関とは適時話し合い準備を行っている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	現在、ホームとしては体制が整っているとは言いがたいが、今後はホームとして指針を整える必要がある。また、主治医と連携しながら整備をしていきたい。		将来は増加すると予想されるが、ご家族様の協力は不可欠となっていく。事業所として、ご家族様を含めた研修や事前の情報提供は必要であると思われる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>入院による退去が殆どだが、その際も出来るだけ情報提供を行っている。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>生活しているご利用者様から見て、配慮がないように見える動作や敬意の感じられない言葉づかいや音量等をしないよう、常に意識して業務を行っている。馴れ合う前に定期的に、管理者が注意喚起をしている。</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>個々の能力に合わせて、選択性・自己決定を促す声かけを行っている。また、表情で意思を汲み取ったり、静かな場面での再度説明したりと環境を整える工夫をしている。</p>		
<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>ご本人の体調を考慮しながら、その人その人に合ったペースで生活できるよう支援している。職員側も決まりごとにしぼられることなく、その場面場面では柔軟に対応している。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>月1回の訪問理美容を利用している。散歩や外出頻度を多くして、衣類準備や整容する機会を増やすようにしている。</p>		
<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>食事準備や食事、後片付けはご入居者様と必ず行っている。食事時の楽しい雰囲気が生活意欲に反映されている。台所仕事は皆さんが手伝ってくれるので、人間関係をみながら職員が配慮している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>おやつをなじみのスーパーで買い物することへの支援や、玄関での喫煙同行、ホーム外ではご利用者様と一緒にお酒や喫煙が楽しむことが、ご利用者様が表情が和らぐことに繋がっている。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>排泄記録にて誘導や水分の提供、下剤の調整を行い、立位不可でもトイレでの排泄介助を行っている。また、リハビリも個々に工夫し、不快感の減少や尊厳の保持に取り組んでいる。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>現在は特に時間や曜日にこだわりのあるご利用者様はいない。拒否傾向の方には、スムーズに入浴が行えた場合、やはり拒否だった場合等細かく、夕の申し送り情報共有を図っている。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>リビングのソファで朝寝・昼寝をする方、夕寝を居室でする方、夜間は湯たんぽで安心する方等いろいろだが、一日1回は外の空気を吸うことを基本とした支援をしている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>一人一人に応じてやりたいこと・できることを提供している。お手伝いの後には感謝を伝えるようにしている。勿論、個人への負担増にならないよう配慮や、共有感の演出も大切である。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご自身で金銭を管理している方もいれば、お小遣い程度を所持し、買い物時自分で支払いをしている方もいる。あとご家族様から、本人に現金を持たせないでほしいと要望があることもある。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	日常的な買い物外出や散歩を行っている。その日も天気を見ながら臨機応変に外出をできるよう対応している。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	ドライブや外出へは季節に応じて行っている。ご利用者様からの要望は可能な限り迅速に対応して、思い出に残る外出を心掛けている。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	子機使用にて気軽にプライバシーを守りながらのやりとりを可能にしたり、また手紙の代筆も行っている。		回数や参加人数をこれから多くしていきたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	事前の連絡が無くても、曜日、日時に関係なく来訪できるよう努めている。いつも来ていただいているご家族様には、急な外出時には連絡を事前に差し上げるようしている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束を行わないことを職員が周知実践している。また、職員による言葉がけや行動抑制になっていないか常にミーティングで話し合っている。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中玄関に鍵をかけることはない。また居室にも鍵はついていない。ご入居者様から、「部屋に鍵がついていないから不安だ」と言われた時は検討しているが、安全の為に都度説明している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>限られた職員で個別の対応をしているが、フロアには常に職員が1以上配置するようにしてさりげなく見守りするよう心掛けている。</p>		<p>転倒防止の為、センサーを2名の方に設置しているが、最小限度に改良したり、外す方向で検討していきたい。大切な事は、予防や予知であることも指導していきたい。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>注意が必要な物品に関してはスタッフルームや鍵のかかるところへの保管や、夜間目の届くところへ移動したりしている。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>今までの事故報告書やヒヤリハットレポートをファイルにして、職員が閲覧できるようにしたり、過去に発生した事故が多い事項や、重要な事故につながるようなことは、入社時にすぐ伝達するなどしている。</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>緊急時のマニュアルを整備したり、年1回の救急救命講習を消防署に依頼・受講している。</p>		<p>新規職員や確認の為に、応急手当や初期対応の訓練を定期的実施していきたい。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>消防避難訓練に1Fの商店従業員の参加をしていただいた。また、運営推進会議では、火災時の連絡体制について話し合いもできた。</p>		<p>夜間や水害・地震を考えると、地域住民へのご挨拶はかせないので、町内会会費徴収時とう呼びかけていきたい。</p>
72	<p>リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>行方不明、転倒、転落など予想されるリスクについてはご家族様と話し合い、対応策を考えている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	異変にすぐ気づくように、朝・夕のミーティングで情報共有や記録確認をしたり、不慣れた職員が報告してきた場合は、先輩職員が確認するようにしている。		今後も勉強会を実施して、新入職員にも早く対応できるようにしていきたい。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬は管理表を作成し、注意事項を掲示している。職員が内容を把握し、必ず本人が服薬できたことをサインで確認するようにしている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	ヤクルトやヨーグルトなどの摂取や便秘改善に体操や散歩を行っている。また陰部へのウォッシュレットでの刺激や、腹部メンタマッサージを施行している方もいる。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	口腔ケアや義歯洗浄を定期的に促している。また訪問歯科と連携をとり、適切な治療が受けられるようにしている。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	ご本人が元気だった頃に、聞き出したり、外食等で試すことで認知症状が進行した時や体調不良時の栄養確保にむけ情報を収集している。また、嗜好品だけでなく、日常に会話や生活リズムの活性が食事・水分に繋がっていくことも重要なことと支援している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種は、ご入居者様、スタッフ全員行っている。市からのFAXを迅速に閲覧し、必要に応じた対応を常日頃(手洗いうがい等)を行い、いつでも対応できるよう必要物は購入している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>毎日包丁、まな板、布巾、台所用品の消毒を行っている。また、食材は毎日配達され、当日調理し使いきるようにしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>避難経路を確保しつつ、玄関まわりに少ないながらもプランターを配置している。殺風景で少ないながらも、高齢者関係だけでなく、児童や一般向けなど福祉関係の広告にて情報の発信もしている。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>工夫して季節感・家庭感を演出してるが、個々によっての「居心地」は相違があるので、環境や職員の言動には細心の配慮が必要である。また、構造上や狭いスペースの活用には工夫の余地は残されている。</p>		<p>それぞれの「居心地」が成立するようにするには難しい部分があるが、職員の配慮には常時切磋琢磨が必要である。</p>
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>設備や構造上スペースには限界があり、食卓変更やソファーに設置変更しているが、全員が満足した配置とはいえない。現在は、時間帯や生活パターンで工夫している。</p>		<p>ご利用者様が職員目から離れ、息抜きできるセミプライベートスペースや共有空間での一人になれる場所づくりを今後していきたい。</p>
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご入居時に説明を行い、なじみのある家具や寝具、装飾品を持ち込むよう促しているが、かえって不安を招いている場合があったりする。根本的な居心地の快さは、なじみや本人と一緒に創りあげていくものだと感じるが多かった。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>天候や各利用者様に合わせて、居室の換気や温湿度の調整をしている。共有部分では、個々によって感じ方が違うが、少ない時やいない時を見計らって行っている。</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>随所に手すりが設置してあったり、バリアフリー構造で車椅子や歩行器でも移動がしやすくなっている。また、故意に食卓を多くて伝い歩きにより歩行機能向上を図ったり、車椅子の通路を狭くすることで、操作動作がうまくなったりしている。</p>		<p>高齢化や認知症状の進行により身体機能低下がみられたご利用者様もいるので、新たに環境づくりを検討する場所については、対応していきたい。</p>
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>亡くなった家族が認識できるよう仏花の交換やみずやり、日めくりカレンダーの活用や、内服後の空袋の保管等行っている。今後とも自立できるよう工夫していきたい。</p>		
<p>87</p> <p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>建物の周りがアスファルトではあるが、歩行器や車椅子のままでの散歩や買い物(1階がコンビニエンスストア)や、玄関先での花火等行っている。今年度も市民農園を近隣に借りることにしている。</p>		

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある <input type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています <input type="radio"/> ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p><input type="radio"/> ほぼ毎日のように 数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> たまに <input type="radio"/> ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p><input type="radio"/> 大いに増えている 少しずつ増えている <input checked="" type="radio"/> あまり増えていない 全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p><input type="radio"/> ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p><input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p><input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

普段からご入居者の生活の場であることを念頭に置き、主体性・生活意欲が湧き出るような介護に努めています。その人その人の尊厳を大事にして、ペースを乱さないようまた、プライドを気づけないような配慮を常に意識して職員は接しています。提供されるケアより、共に創り上げていくこと、その中に笑顔を見出せることが、私達の目標です。また外出、レクレーション、買い物は迅速に行動できるような体制を整えています。天候や思いがたったら、個別や少人数でのドライブも積極的に出掛けています。